

令和5年度 香川県立図書館の図書館評価

I 図書館評価の概要

香川県立図書館では、運営の改善と図書館サービスの向上を図るため、図書館運営に関する評価の指標及び目標を設定し、運営状況について評価を行う「図書館評価」を実施した。

<総括>

- 評価指標の数値目標の達成状況は、12項目のうち、評価A(数値目標の達成率100%)が6項目、評価B(数値目標の達成率80%以上100%未満)が6項目となり、評価C(数値目標の達成率80%未満)はなかった。
- 重点目標「1. 図書館資料の整備充実」のうち、「蔵書冊数」については、県民の課題解決支援に役立つ資料や調査研究に必要な専門的資料などの幅広い収集に取り組んだが、わずかに数値目標に届かなかった。郷土資料については、積極的に収集に努め、数値目標を達成した。引き続き、県民に必要とされる資料や市町立図書館等への支援に必要な資料の整備充実に努める。
- 重点目標「2. 図書館サービスの充実、強化」については、7項目中5項目において、前年度末の実績見込みと同程度あるいは同数を数値目標に設定したが、5項目が目標に達することができなかった。入館者数については回復基調を持続させ、新規利用者登録や資料貸出の増加に結びつけるために、サービスの充実とその広報に努める。
- 重点目標「3. 読書普及活動の充実」及び「4. 文化活動の推進」については、3項目とも数値目標を達成した。新規機能導入により利便性の向上を図ったことにより、「ホームページアクセス数」が、令和4年度より増加した。さらなるアクセス数増加に向けてコンテンツの充実をはかる。また、関係機関と連携・協力し、県民の多様なニーズに対応した展示、イベントの開催に取り組む。

重点目標	評価指標	数値目標	実績	達成率	評価
1. 図書館資料の整備充実	① 蔵書冊数	1,130,000冊	1,129,868冊	99.9%	B
	② 郷土資料受入冊数	2,300冊	2,315冊	100.7%	A
2. 図書館サービスの充実、強化	③ 入館者数	380,000人	400,964人	105.5%	A
	④ 新規登録者数	3,200人	2,763人	86.3%	B
	⑤ 個人貸出冊数	810,000冊	741,992冊	91.6%	B
	⑥ レファレンス件数 (クイックレファレンスを除く)	1,300件	1,259件	96.8%	B
	⑦ 協力貸出冊数	6,500冊	5,605冊	86.2%	B
	⑧ 児童団体貸出・学校支援 文庫貸出冊数	9,000冊 団体3,000冊 学校6,000冊	8,905冊 団体3,345冊 学校5,560冊	98.9%	B
	⑨ 来館者満足度	90%以上	91%	101.1%	A
3. 読書普及活動の充実	⑩ ホームページアクセス数 (図書館トップページ)	345,000件	366,670件	106.3%	A
	⑪ 展示等の実施回数	60回以上	78回	130.0%	A
4. 文化活動の推進	⑫ イベント、講座、研修会等 の開催回数	20回以上 (うち子ども向け 7回以上)	20回 (8回)	100.0% (114.3%)	A (A)

II 図書館評価の達成状況

重点目標	評価指標	数値目標	5年度実績	達成率	評価
1. 図書館資料の整備充実	① 蔵書冊数	1,130,000冊	1,129,868冊	99.9%	B

<達成状況等>

- 蔵書については、資料受入冊数が16,199冊（内訳：購入12,125冊、寄贈3,814冊、再用・その他260冊）で、廃棄冊数が1,070冊となり、差し引き15,129冊増加して蔵書冊数が1,129,868冊と、数値目標を132冊（0.1%）下回った。
- 特に、県民の課題解決に役立つ資料を提供するコーナーの充実のため、県民が生活上、仕事上に役立つ資料や社会的に関心の高い資料に留意して収集したほか、調査研究に必要な専門的な資料、郷土資料、児童資料を重点的に収集した。

2年度実績	3年度実績	4年度実績
1,081,663	1,099,069	1,114,739

<今後の取組み>

- アンケート調査における図書館への要望として、「新しい図書や雑誌の充実」が最も多く寄せられていることから、課題解決支援の資料、郷土資料、児童資料に加え、本県の中核図書館として市町立図書館を支援するための資料などを重点的に収集する。
- 郷土資料及び児童資料については、引き続き優先的に購入する一方、文芸書は定評のある著者の作品や受賞作、書評等に取り上げた作品を中心に収集し、家政、芸術、趣味など、類書が多数出版される分野については厳選して収集するなど、適切な資料の収集・保存に努める。
- デージー資料や大活字本、朗読CDといった、読書に障害がある方のための資料充実に取り組む。

重点目標	評価指標	数値目標	5年度実績	達成率	評価
1. 図書館資料の整備充実	② 郷土資料受入冊数	2,300冊	2,315冊	100.7%	A

<達成状況等>

- 郷土資料の受入冊数については、県、市町及び関係機関等に対して行政資料の寄贈を積極的に呼びかけたほか、当館に所蔵がない幅広い分野の資料を古書店を通じて購入するなど郷土資料の充実に努め、数値目標を15冊（0.7%）上回った。
- 郷土資料の受入冊数の内訳は、購入806冊、寄贈1,394冊、再用・その他115冊となった。

2年度実績	3年度実績	4年度実績
2,369	2,362	1,981

<今後の取組み>

- 一般に流通しない郷土資料が多いため、行政機関や県民に寄贈を呼びかけるほか、郷土資料の発行についての情報収集を進め、県内全域にわたる幅広い分野の資料の積極的収集を図る。
- 収集した郷土資料については、子どもから大人まで活用できるよう資料整備を進めるとともに、貴重な文化資源として永年保存に努める。

重点目標	評価指標	数値目標	5年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	③ 入館者数	380,000人	400,964人	105.5%	A

<達成状況等>

- 入館者数は、開館日数が例年よりシステム更新に伴う休館のため4日減少したものの、数値目標を20,964人(5.5%)上回るとともに、40万人台に回復した。
- 令和4年度(396,949人)と比較すると、システム更新等に伴う休館により9,496人と大幅に減少した11月を含む4月、5月、10月、11月では入館者数を減らしたが、他の月は入館者数を増やし、最終的に4,015人(1.0%)の増加となった。

2年度実績	3年度実績	4年度実績
373,213	409,783	396,949

<今後の取組み>

- 人生100年時代を見据え、人生の各場面で生じる個人や社会の課題解決につながるよう、県民の生涯学習活動を支える基盤として、読書や調査研究の機会を提供する機能強化を図る。
- 移転開館30周年の記念事業が当館利用のきっかけとなるよう、積極的な広報を展開し入館者増に結びつける。
- 当館の本来の機能である資料・情報の提供を確実に実施するとともに、市町立図書館や関係機関、ボランティア団体等との連携を一層密にし、新たな取組みを模索する。

重点目標	評価指標	数値目標	5年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	④ 新規登録者数	3,200人	2,763人	86.3%	B

<達成状況等>

- 新規登録者数は、数値目標を437人(13.7%)下回った。
- 年代別の新規登録者数を令和4年度と比較すると、60歳以上が28人(10.5%)増加したものの、0～12歳：▲68人(▲7.8%)、13～18歳：▲30人(▲17.3%)、19～39歳：▲150人(▲13.0%)、40～59歳：▲77人(▲13.0%)とそれぞれ減少した。
- 60歳以上の新規登録者数は295人で、新規登録者数全体の10.7%を占めており、高齢化の進展を背景として、この層の新規登録は増加傾向にある。

2年度実績	3年度実績	4年度実績
3,015	3,334	3,060

<今後の取組み>

- 香川大学図書館や香川産業頭脳化センターなど関係機関において県立図書館「利用案内」の掲示やチラシ配布を行うほか、見学のため来館した小学校や未就学児施設の児童、教育関係者に対して図書館利用方法を案内するなどさまざまな取り組みを通じて、新規登録者数回復を図る。
- 新たに導入したオンラインによる「利用者登録申請」の積極的な広報に努め、特に「スマホ世代」の若い人たちの新規登録増加を目指す。

重点目標	評価指標	数値目標	5年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑤ 個人貸出冊数	810,000冊	741,992冊	91.6%	B

<達成状況等>

- 令和5年度の個人貸出冊数は、一般書が375,824冊（前年度404,420冊、▲7.1%）、児童書が311,586冊（前年度340,325冊、▲8.4%）となり、全体では数値目標に対し▲68,008冊（▲8.4%）であった。
- 年代別の個人貸出冊数を令和4年度と比較すると、すべての年代で減少し、減少率は、0～12歳：▲10.7%、13～18歳：▲25.3%、19～39歳：▲9.4%、40～59歳：▲9.3%、60歳以上：▲0.8%であった。
- 13～18歳の個人貸出冊数が、前年度比▲25.3%と大きく減少した。平成28年度以降の年代別データによると、60歳以上の貸出数がはじめて全体の30%を超え、40～59歳をおさえて年代別貸出で1位となった。

2年度実績	3年度実績	4年度実績
821,206	857,678	802,661

<今後の取組み>

- 地域の課題解決や社会人の学び直しに対応するため、日常生活や仕事に役立つ資料、社会的に関心の高い資料、調査研究に必要な専門的資料など利用者の多様なニーズに応える資料の収集に努める。
- 多彩なテーマによる所蔵資料の展示など、幅広い層の利用者に対し魅力ある資料をアピールする取組みを行い、利用者と図書館を結びつけることなどにより、貸出冊数の増加につなげる。
- 読んだ本を記録するための「読書通帳」のデザインを刷新し、子どもの読書への関心を高める。

重点目標	評価指標	数値目標	5年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑥ レファレンス件数（クイックレファレンスを除く）	1,300件	1,259件	96.8%	B

<達成状況等>

- レファレンスについては、参考資料及び基本図書の充実やレファレンスサービスの広報に努めたが、数値目標を41件（3.2%）下回った。
- 内訳は、来館者の口頭での質問が638件、電話での質問が463件、文書での質問が22件、メールでの質問が136件であった。
- 資料や情報の探し方をテーマごとに案内する「香川県立図書館調べ方ガイド」を、新たに高校生向けに4テーマ作成した。
- 国立国会図書館「レファレンス協同データベース」に、当館が登録した「レファレンス事例」や「調べ方マニュアル」に、令和5年度1,085,077件のアクセスがあった。

2年度実績	3年度実績	4年度実績
1,200	1,470	1,275

<今後の取組み>

- レファレンスサービスに不可欠な参考資料や基本図書の一層の充実に努めるとともに、課題解決支援に役立つ情報を提供し、質の高いレファレンスサービスの提供に努める。
- 特定のテーマに関する資料や情報を探すための「調べ方マニュアル」作成を継続し、県民の調査、研究を支援する。
- 県民が調査や研究を行う際、インターネットを通じて、当館のレファレンス事例を容易に参照できるよう、国立国会図書館の「レファレンス協同データベース」への事例登録に取り組む。

重点目標	評価指標	数値目標	5年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑦ 協力貸出冊数	6,500冊	5,605冊	86.2%	B

<達成状況等>

- 協力貸出については、個人貸出冊数と同様に減少し、数値目標を895冊（13.8%）下回った。
- 協力貸出対象ごとに、市町立図書館へは5,579冊、公立図書館未設置町（直島町、琴平町）の公民館等へは26冊貸し出した。
- 協力貸出冊数の1館当たりの平均は170冊で、最多貸出館は751冊であった。

2年度実績	3年度実績	4年度実績
6,668	6,672	6,038

<今後の取組み>

- 本県における中核図書館として、市町立図書館を支援するために必要な資料を重点的に収集し、市町立図書館への支援に努める。
- 当館ホームページに、遠隔サービスの内容を取りまとめた県民向けのページを新たに設け、市町図書館を通じた協力貸出に関する積極的な周知に努める。
- 県立図書館と市町立図書館等における、協力貸出資料の搬送を行う協力便については、継続的に週2回の運行に努める。

重点目標	評価指標	数値目標	5年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑧ 児童団体貸出・学校支援文庫貸出冊数	9,000冊 団体3,000冊 学校6,000冊	8,905冊 団体3,345冊 学校5,560冊	98.9%	B

<達成状況等>

- 児童団体貸出・学校支援文庫貸出については、数値目標を95冊（1.1%）下回った。
- 学校支援文庫貸出冊数の内訳は、小学校版が5,260冊、中学校版が300冊であった。
- 児童団体貸出のうち読み聞かせなどを行うボランティア団体に対する貸出しについては、令和4年度と比較すると、212冊（29.4%）増加した。
- 学校支援文庫については、県教育センターでの「新規採用教員研修」や「さぬき市学校図書館活動支援員研修会」においてセット内容や利用方法を周知するとともに、県情報ネットワーク（庁内LAN）の掲示板において時宜に合ったセットを紹介するなど、利用促進に努めた。

2年度実績	3年度実績	4年度実績
7,831冊 団体2,251冊 学校5,580冊	8,958冊 団体2,818冊 学校6,140冊	9,307冊 団体3,509冊 学校5,798冊

<今後の取組み>

- 生涯にわたり、自ら学ぼうとする習慣を身に付けることの重要性が増すなか、子どもの読書習慣確立に向け、児童団体貸出及び学校支援文庫の利用促進を図る。特に、学校支援文庫については、これまで同様、小学校及び中学校の教員研修の機会を捉えた周知に取り組む。
- 学校支援文庫については、学習指導要領に沿った新しいテーマのセットを作成するとともに内容の古くなったセットの更新を行う。

重点目標	評価指標	数値目標	5年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑨ 来館者満足度	90%以上	91%	101.1%	A

<達成状況等>

- 来館者満足度は、数値目標を1.1%上回り、平成30年度に数値目標を「90%以上」に設定して以来初めて評価「A」を獲得した。
- 令和6年1月30日(火)～2月4日(日)の6日間、来館者を対象に「図書館利用に関するアンケート」調査を実施した。516人(18歳以下42人(8.1%)、19～39歳103人(20.0%)、40～45歳113人(21.9%)、60～74歳177人(34.3%)、75歳以上80人(15.5%)、無回答1人(0.2%))の回答のうち、当館サービスの満足度についての質問に対して、満足292人(56.6%)、やや満足179人(34.7%)との回答を得た。

2年度実績	3年度実績	4年度実績
88%	88%	89%

<今後の取組み>

- アンケート調査結果において、当館サービスを評価する点としてあげられた、「閲覧室内の快適性」や「職員の対応」については、引き続き、高い評価が維持されるよう適切な施設管理、親しみの持てる利用者対応に努める。
- 特に、アンケート調査で要望が高い「新しい資料の充実」をすすめるため、資料購入費の獲得に引き続き取り組み、より一層の来館者満足度向上を目指す。

重点目標	評価指標	数値目標	5年度実績	達成率	評価
3. 読書普及活動の充実	⑩ ホームページアクセス数(図書館トップページ)	345,000件	366,670件	106.3%	A

<達成状況等>

- ホームページアクセス数については、数値目標を21,670件(6.3%)上回った。
- 内訳は、Webサイト287,348件、携帯サイト559件、スマートフォンサイト45,973件、市町立図書館用サイト32,790件となった。
- 12月の図書館情報システム更新では、「オンライン利用者登録申請」や「貸出履歴の保存」などの新規機能を導入するとともに、「県内図書館横断検索」をリニューアルするなど既存機能の操作性を改善させ、ホームページの利便性向上を図った。
- 当館に所蔵する江戸時代から昭和時代に作成された絵図や古文書などの郷土資料をデジタル化しインターネット上で公開する「香川県立図書館デジタルライブラリー」では、10月に40点を追加し、公開点数が446件となった。

2年度実績	3年度実績	4年度実績
351,947	352,351	352,743

<今後の取組み>

- さまざまな機会をとらえて効果的な広報に努め、ホームページ新機能の浸透を図る。また、ホームページのフレッシュさを保つため、引き続き、企画展示やイベントなどの開催情報をタイムリーに発信するほか、「ブックリスト」「調べ方ガイド」などのコンテンツ充実に取り組む。
- インターネットを通じて貴重な郷土資料を手軽に利用ができるよう、「デジタルライブラリー」の充実に努めるとともに、アクセス数増加を目指し「デジタルライブラリー」の積極的な広報に取り組む。

重点目標	評価指標	数値目標	5年度実績	達成率	評価
3. 読書普及活動の充実	⑪ 展示等の実施回数	60回以上	78回	130.0%	A

<達成状況等>

- 展示等の実施については、Young Generationコーナーにおいて、中高生の読書のきっかけづくりを目的とした初のミニ展示「本の福袋」など、工夫を凝らしたさまざまな企画で積極的に実施し、数値目標を18回（30.0%）上回った。
- 中国四国農政局や香川県漆芸研究所などによる企画展示、高松市図書館と同時実施した「G7香川・高松都市大臣会合」の関連図書展示など、県内のさまざまな関係機関と連携し多彩な展示に取り組んだ。

- ・展示コーナー企画展示等16回（うち他の機関と連携・協力した展示7回）
- ・イベント関連本展示等13回
- ・子育て支援コーナー企画展示4回
- ・健やか生活応援コーナーミニ展示5回
- ・ビジネス情報・しごと応援コーナーミニ展示6回
- ・Young Generation コーナーミニ展示など14回
- ・児童資料コーナー「今月の本」など15回
- ・雑誌コーナー「なつかしのバックナンバー」4回
- ・郷土資料コーナーミニ展示1回

2年度実績	3年度実績	4年度実績
76回	70回	71回

<今後の取組み>

- 新たな利用者の獲得や関連資料の貸出のきっかけとなるよう、今後とも、関係機関と連携・協力するなどして、利用者の興味を喚起する新鮮で魅力あふれる展示を企画・実施する。

重点目標	評価指標	数値目標	5年度実績	達成率	評価
4. 文化活動の推進	⑫ イベント、講座、研修会等の開催回数	20回以上 (うち子ども向け7回以上)	20回 (8回)	100.0% (114.3%)	A (A)

<達成状況等>

- イベント、講座、研修会等については、開催回数20回以上(うち子ども向け7回以上)の数値目標を達成した。
- 参加申込みを「県電子申請・届出システム」により受け付けるイベント数を増やしたほか、一部講座についてはリモート参加を実施するなど、参加者の利便性向上を図った。
- 子どもの読書活動推進に取り組む人材育成のため学校図書館関係者や公共図書館職員を対象とした「子どもと本の読書の講座」を開催した。また、関係機関と連携した新たな取組みとして、香川大学図書館と共催で、「香川大学図書館企画展示関連講演会」を開催した。

- ・イベント11回
子ども読書まつり2回、図書館コンサート2回、香川大学図書館との共催による講演会1回
高校生の司書体験1回、図書館探検2回、職員によるおはなし会3回
- ・講座4回
健やか生活応援講座2回、子どもと本の読書の講座1回、子育て支援講座1回
- ・研修会等5回
図書館職員研修会（初任者研修1回、専門研修1回）、香川県図書館大会1回、実務担当者会2回

2年度実績	3年度実績	4年度実績
20回	23回	25回

<今後の取組み>

- 児童を対象とした図書館や読書に親しむためのきっかけづくり提供を目的とした新たなイベント実施にも取り組むなど、子どもから大人までさまざまな利用者が参加でき、県民が図書館への理解を深めたり、自主的、自発的に学習することができる催しを企画し開催する。
- 子どもの読書活動推進に取り組む人材育成として、令和6年度は、子どもに対して、幅広いジャンルの本への興味を引き出す「ブックトーク」について学ぶ講座を開催する。
- 市町立図書館職員の専門的な知識・技術の習得を目的に、参加者の満足度が高められるよう、要望の多いテーマで研修会を開催する。

Ⅲ 外部評価

令和5年度図書館評価の達成状況については、令和6年7月18日開催の令和6年度第1回香川県立図書館協議会において、委員の外部評価を受けた。

<委員からの意見>

○「①蔵書冊数」については、B評価としているが、実際にはほぼ100%の達成率であり、A評価に相当すると考えられる。そもそも各年度の受入冊数は資料購入費や本の単価に影響されるうえ、選書の質を保つ必要もあるため、受入冊数の積み上げである蔵書冊数を絶対的な数値目標とすることには難がありそうだ。（蔵書冊数を指標とする場合は幅を持たせた標準目標のような位置づけが好ましいのかも知れない。）

○昨年同様、「⑩展示等の実施回数」など図書館の努力が直接反映される項目はA評価となっている。これは、令和5年度も図書館が知恵を絞り、利用者の拡大やサービスの向上をねらった結果であることを評価したい。一方、「⑤個人貸出冊数」などB評価の項目は、図書館の努力がそのまま実を結ぶとは限らないところであり、数値に一喜一憂せず、時代の動きを敏感に感じ取る姿勢が組織の中に醸成されることが重要ではないだろうか。

○数値目標の設定は評価の基準設定であり、一定の有効性はあるが、それが全てではない。組織としてより重要なことは、設定した数値目標の達成・未達成に囚われるのではなく、達成・未達成の背後に何があるのか、どの業務に力を注げば未達成の項目の改善につながるのかを、組織内で自由闊達な議論が展開されることである。そうすることで、職員一人一人が全ての業務に当事者意識をもち、改善のアイデアを互いに出し合い、計画的に実施していける、組織の自律性が高まっていくのだろう。近年、そのような組織に発展しつつあるように感じられるので、さらなる努力を期待している。